



## 労働災害件数は社会福祉施設で増加

～ 死傷災害、死亡災害とも全体件数が大幅増加 ～

### 1 概況

休業4日以上死傷災害発生状況

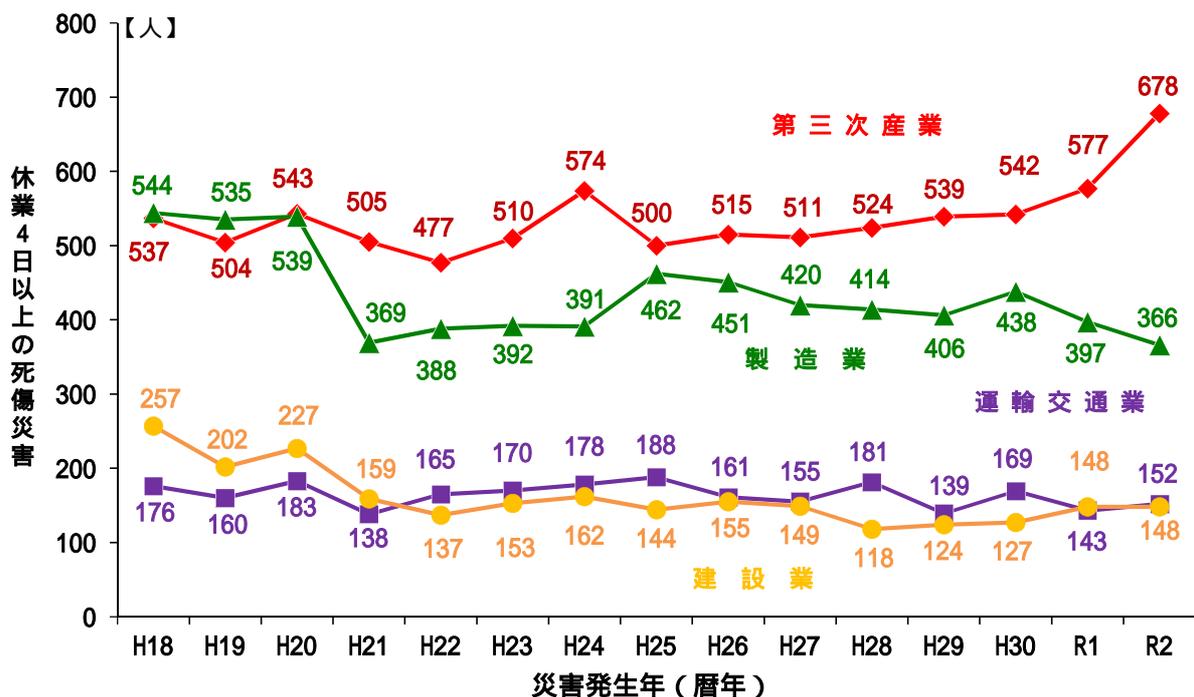
滋賀県内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、第1図に示すように、平成24年を起点として5年連続で減少していたが、平成30年で増加に転じ、令和2年の休業4日以上死傷者数は、全産業で1,464人となり、前年に比べ88人(+6.4%)の増加となった。

業種ごとの内訳では、第2図に示すように、運輸交通業が152人(前年比+6.3%)、第三次産業が678人(前年比+17.5%)の増加となった。

< 第1図 > 休業4日以上死傷者数の推移(全産業、過去15年間)



< 第2図 > 休業4日以上死傷者数の推移(業種別、過去15年間)

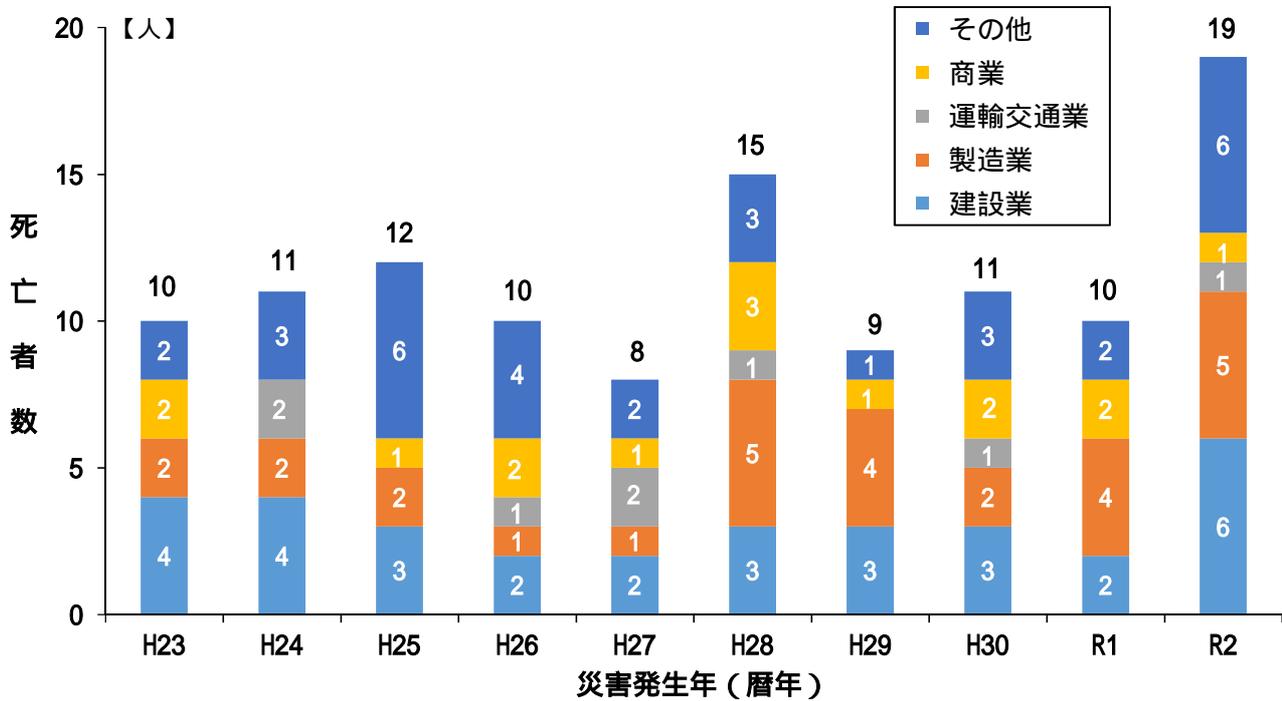


## 死亡災害発生状況

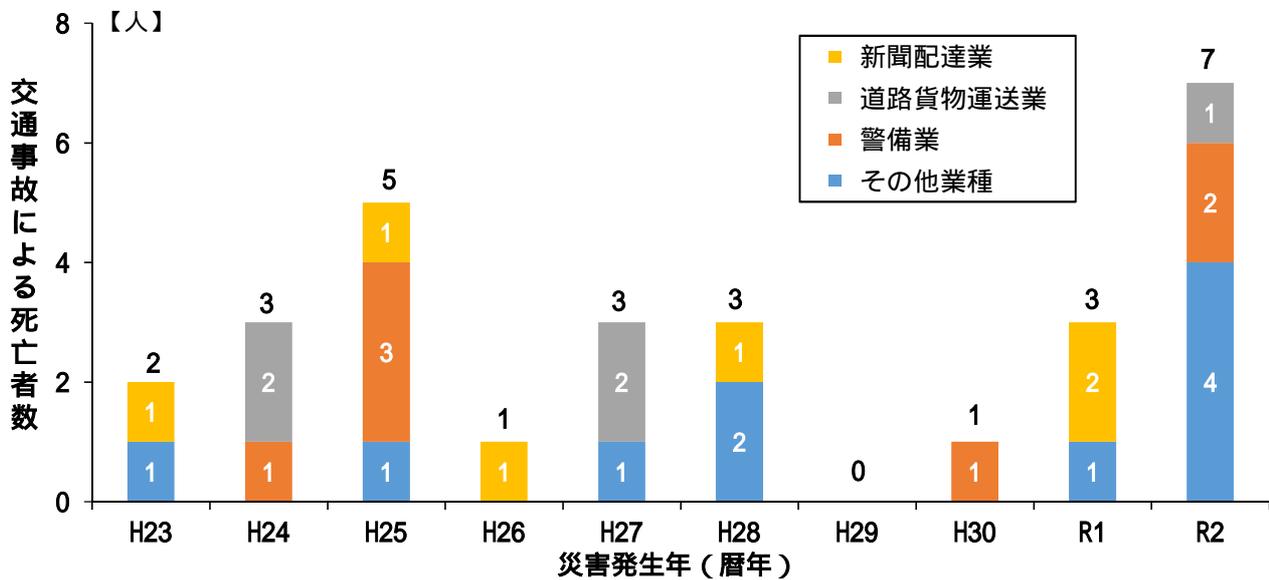
死亡災害は第3図に示すように、令和2年は19人と令和元年に比べ9件と大幅に増加し、依然として10人台にとどまっている。

交通事故による令和2年の死亡者数は、第4図に示すように7人となり、うちその他の事業が4人となった。

<第3図> 死亡者数の推移（過去10年間）



<第4図> 交通事故による死亡者数の推移（過去10年間）

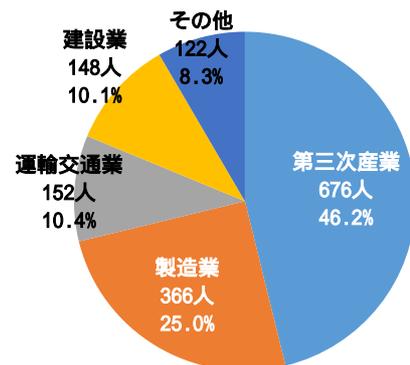


## 2 業種別の発生状況（令和2年）

休業4日以上の死傷者数は、第5図に示すように、第三次産業の占める割合が46.2%と最も高く、次いで、製造業(25.0%)、運輸交通業(10.4%)、建設業(10.1%)が多くを占める。

第三次産業の内訳は、676人中、商業(204人)、社会福祉施設(163人)、接客娯楽業(103人)、清掃業(50人)等である。

死亡者数は、第3図に示すように、建設業が6人と大幅に増加し、製造業5人、その他の業種が7人(警備業2人、病院1人、農業1人、飲食業1人、倉庫業1人、その他1人)となった。



<第5図> 業種別死傷災害  
全産業 1,464人

### 3 事故の型別の発生状況（令和2年）

全産業の死傷者数を事故の型別で見ると、第6図に示すように「転倒」が24.0%と最も多く、次いで、「動作の反動・無理な動作」が14.7%、「墜落・転落」が14.6%、の順で発生している。

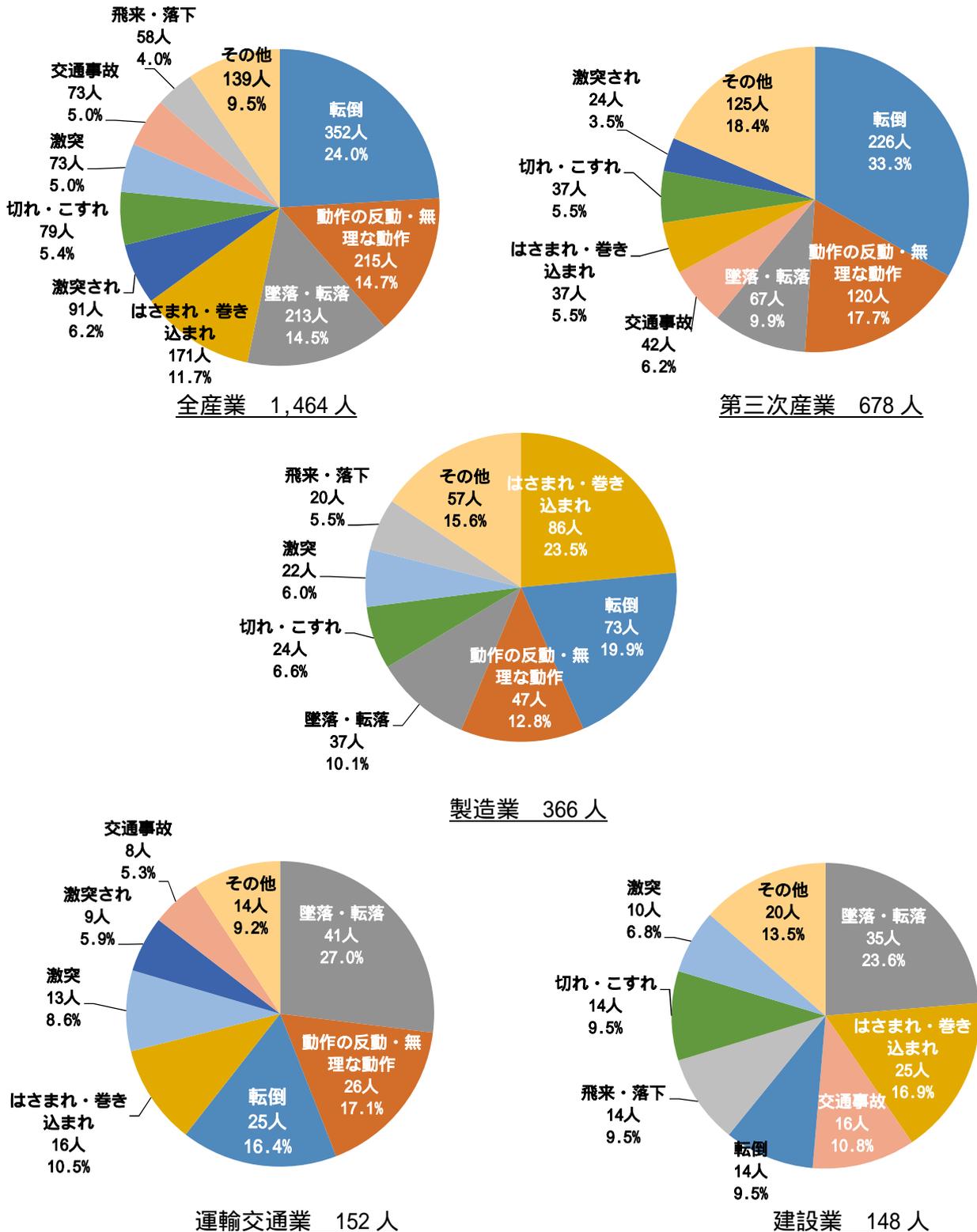
事故の型別の死傷者数を業種別に見ると、第三次産業では「転倒」が33.3%と最も多く、次いで、「動作の反動・無理な動作」が17.7%、「墜落・転落」が9.9%の順で発生している。

製造業では「はさまれ・巻き込まれ」が23.5%と最も多く、次いで、「転倒」が19.9%、「動作の反動・無理な動作」が12.8%の順で発生している。

運輸交通業では「墜落・転落」が27.0%と最も多く、次いで、「動作の反動・無理な動作」が17.1%、「転倒」が16.4%の順に発生しており、「交通事故」の割合は5.3%にとどまっている。

建設業では「墜落・転落」が24.3%と最も多く、次いで「はさまれ・巻き込まれ」が16.9%、「交通事故」が10.8%の順に発生している。

< 第6図 > 事故の型別死傷災害

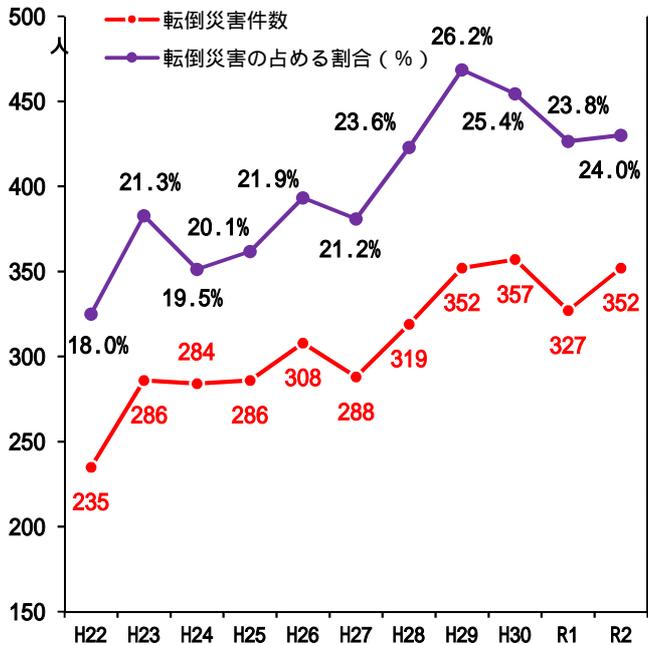


令和2年の死亡災害の事故の型別では、全数19人の内、「交通事故」が7人、「はさまれ・巻き込まれ」が4人、「墜落・転落」が3人、「崩壊・倒壊」、「激突され」、「おぼれ」、「高温・低温の物との接触」、「爆発」が1人ずつ発生している。

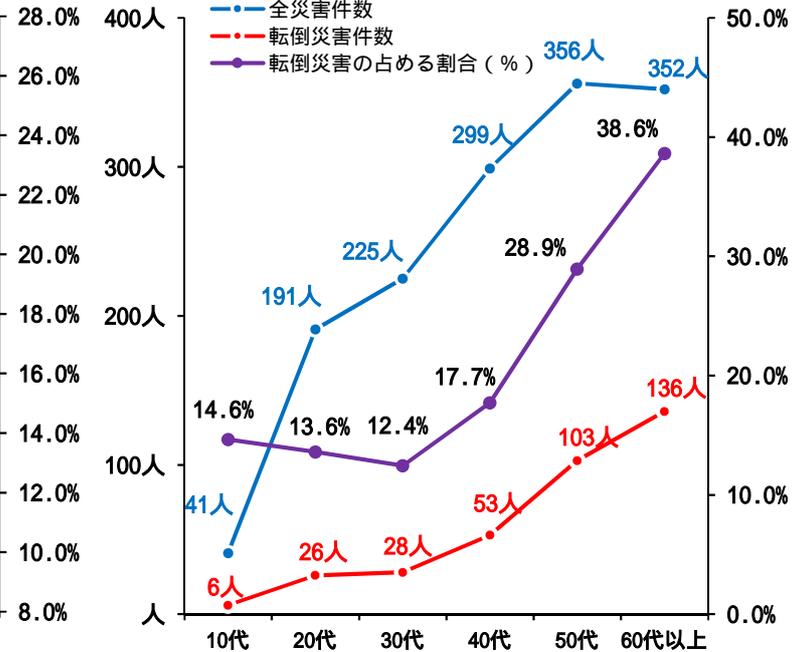
令和2年の転倒災害件数は、第7図に示すように全産業で352件と年々増加する傾向にあり、就業者の高年齢化などに伴い、依然として高止まり傾向を示している。また、労働災害全体に占める転倒災害の割合は、令和2年は24.0%であった。

令和2年における転倒災害352件の年代別件数は、第8図に示すように、60代以上が136人と最も多く、次いで50代が103人、40代が53人となり、各年代の転倒災害の割合は、年齢を重ねるほど高くなる傾向にある。

<第7図> 転倒災害の件数と全体に占める割合



<第8図> 年代別災害件数と転倒災害の割合



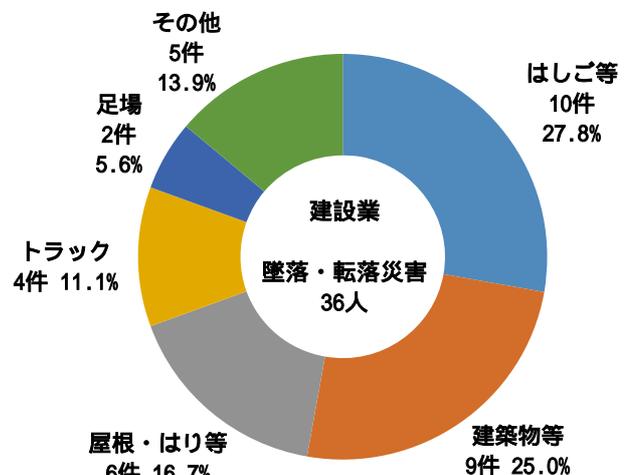
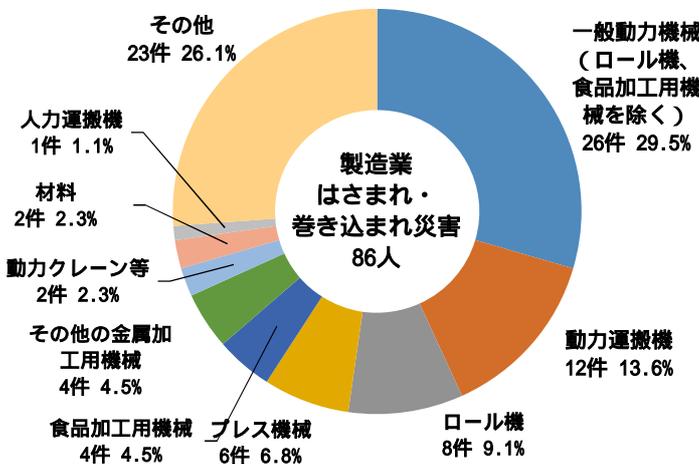
#### 4 起因物別の発生状況（令和2年）

製造業での災害のうち、発生件数が多く、重傷になりやすい「はさまれ・巻き込まれ」災害86件を起因物別でみると、第9図に示すように「一般動力機械」が最も多く29.5%を占めている。

建設業で最も死傷者数の多い「墜落・転落」36件を起因物別でみると、第10図に示すように「はしご等」が最も多く、「建設物等」、「屋根・はり等」、「足場」を上回っている。

<第9図> 製造業における、「はさまれ・巻き込まれ」災害の起因物別内訳

<第10図> 建設業における「墜落・転落災害」の起因物別内訳



\* 休業4日以上の死傷災害は「労働者死傷病報告」による。